



## マラソン・ウォーキング大会紹介

県内各地で地域ならではの魅力あふれる大会が開催されています。自分のお気に入りのみつけて、思い思いに心地よい汗を流してみませんか？



大会一覧

2020/2/22(土)・23(日) 当日参加可能

### 第8回 南さつま海道鑑真の道歩き

「南さつま海道」を巡るウォーキング大会。海沿いの絶景や坊津の歴史ある町なみを楽しもう！

- 種目:ウォーキング17km・3km 他
- 問い合わせ先:TEL.0993-53-2111  
南さつま海道鑑真の道歩き実行委員会事務局



南さつま市

2020/3/8(日) 申込締切2020/1/24(金)

### 第19回 川内川河口マラソン・ウォーキング大会

すがすがしい川沿いを行こう！フラットなコースで初心者にもおすすめ。

- 種目:マラソン23km・ウォーキング4km 他
- 問い合わせ先:TEL.0996-25-8283  
川内川河口マラソン・ウォーキング大会事務局



薩摩川内市

2020/3/8(日) 申込締切2020/1/19(日)

### 第29回 ヨロンマラソン大会

与論島の絶景と温かいおもてなしが魅力！県外からの参加者も多い人気の大会。

- 種目:フルマラソン・ハーフマラソン
- 問い合わせ先:TEL.0997-97-5123  
ヨロンマラソン実行委員会事務局



与論町



仮装して楽しむ参加者



大会を支えるボランティア(救護)



県内外から参加者が集まるいぶすき菜の花マラソン

## スポーツかごしま

今年開催されたインターハイに続き、来年に迫ったかごしま国体・かごしま大会。スポーツのビッグイベントが続く今、スポーツを「する」・「みる」・「ささえる」をテーマに県内各地のさまざまな活動をシリーズで紹介します。

VOL.04 スポーツをする

## 地域の魅力を感じながら心地よい汗を流そう

―気軽に参加できるマラソン・ウォーキング大会―

### 春の訪れを告げる

### 「いぶすき菜の花マラソン」

スポーツ大会は、記録や順位を競うだけでなく、スポーツを通じて多くの人々と交流できる絶好の機会です。中でもマラソンやウォーキング大会は参加者の多いスポーツで、県内でも年間80以上の大会が開催されています。今回は、全国屈指のマラソン大会である「いぶすき菜の花マラソン」実行委員会事務局の指宿市観光協会事業部長、石田三了さんにその魅力を聞きました。

早春の菜の花ロードを駆け抜ける同マラソン大会(毎年1月第二日曜日開催)には、毎年県内外から約1万人以上が参加。池田湖や開聞岳、美しい海岸線と、雄大な景観を堪能しながら、健脚を競います。

1982年の第一回参加者は、わずか約300人でした。

### 大会を楽しむ

マラソン・ウォーキングは、自分の体力にに応じて取り組むことができるため、幅広い年代に親しまれ、初心者でも気軽に始められるスポーツです。大会に参加してゴールしたときの達成感はもちろん、おもてなしや沿道の声援など、地域との交流も魅力です。

日常とは違う景色や季節の花など、地域ならではの魅力も楽しめるので、観光としてもおすすめ。気持ちよく汗を流した後、地元の温泉に入ったり、ご当地の食事を味わうのも楽しみ方の一つです。

楽しかった経験がスポーツの継続にもつながり、健康づくりにも役立ちます。

スポーツを始めてみたい皆さん、まずはマラソン・ウォーキング大会にエントリーしてみませんか。



参加者をもてなすエイドコーナーも楽しみの一つ

「住民のおもてなしの心がこれだけの大会に育てたのだと思います」と石田さんは語ります。

地元住民手作りのソラマメスープやぜんざいなど、沿道の「おもてなし」コーナーは自主的に広がり、今では50箇所以上に。運営には約1500人の市民やボランティアが携わり、地域に根差した大会となっています。

参加者からも「途中のおもてなし、最高!」「ハイタッチの応援が嬉しくてたまらなかった!」などと、感激の声が寄せられています。住民の優しさが、大会の最大の魅力となっています。



実行委員会 石田さん

## 鹿児島 ヒロイン伝

スポーツ界で活躍したあの人を紹介



山崎 浩子さん  
1984年ロサンゼルス五輪8位  
1960年指宿市生まれ

### 選手として指導者として新体操界に貢献

山崎さんは高校の新体操部の演技を初めて見たとき、その美しさに感動し、入部を決意。

競技を始めてからは、厳しい練習に取り組んで実力を伸ばし、全日本選手権5連覇、ロサンゼルスオリンピック個人競技8位入賞と、輝かしい成績を残しました。

2004年から(公財)日本体操協会新体操強化本部長を務め、ジュニアからナショナル選手までを統括。山崎さんの指導の下、日本代表は世界選手権等で好成績を修め、東京2020オリンピックの団体個人の出場枠を獲得しました。初のメダル獲得を目指し、まだまだ奮闘は続きます。

次号の特集は

〈スポーツをささえる〉  
国内外のトップアスリート  
が集う環境づくり